

(1) 成果指標評価表

○：目標値を上回り達成している △：目標値には至らないが基準値を超えている ×：目標値に至らず、基準値を下回っている

基本目標	施策	管理番号	指標	指標選定の考え方	基準値 (データ年度)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	評価値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	達成判定	達成・非達成理由	担当課
1 千曲の魅力で創生する賑わいと活力あるまち	1-1【都市基盤】交流を活発にする都市空間を整備する	1	1日あたり的高速道路インターチェンジの利用台数	産業経済の活性化、交流人口の増大の取り組みを表す	11,982台(H27)	12,379 台	12,451 台	12,338 台	10,634台	12,700台	×	新型コロナウイルス感染拡大防止による、交流人口の大幅減少が大きな要因であると考えられる。(コロナ後に備え、姨捨スマートIC付近への案内看板等の整備を検討していきたい。)	建設課
		2	幹線道路の整備率	幹線道路整備の進捗状況を表す	54.7%(H27)	57.0 %	57.0 %	57.2 %	59.9%	59.9%	○	目標の幹線道路(千曲線)の整備を完了したことにより達成。	建設課
		3	循環バス・デマンド交通の年間利用者数	公共交通機関(循環バス・デマンド交通)の整備・充実を表す	118,330人(H27)	117,036 人	118,211 人	114,433 人	90,982人	148,000人	×	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛要請等の影響を受け、利用人数は大きく落ち込んだ。しかし運行の実施については、車内除菌や換気の徹底など、安全・安心な運行推進を図り、生活交通利用者に対する継続的な運行提供を継続している。	生活安全課
	1-2【産業連携】連携による千曲市産業の基盤をつくる	4	研究支援件数	大学研究機関との連携による、新産業や新商品の創出に向けた取り組みの状況を表す	2件(H26)	3 件	2 件	5 件	6件	6件(H31)	○	地域振興や施策の推進にあたり、大学研究機関と連携して調査等を実施する件数を増やすことができたため。	歴史文化財センター
		5	信州千曲ブランド商品認定数	地域ブランド確立の取り組み状況を表す	142品目(H28)	155 品目	155 品目	159 品目	159品目	170品目(新規商品10品目)	△	2年ごとにブランド商品の認定更新を実施。R4年2月頃更新予定。	観光交流課
		6	「新技術等開発事業」「販路開拓支援事業」の交付件数	企業の技術力・販売力の強化に向けた取り組みの状況を表す	24件(H24~26)	19 件	36 件	50 件	114件(H29~R2)	100件(H31までの累計)	○	製造業はアフター・ウィズコロナの社会・経済構造変化に対応すべく、企業の取組みを行っている。	産業振興課
		7	新商品開発支援件数	地元農産物を使用した加工業者の商品開発支援件数を表す	0件(H28)	1 件	2 件	4 件	4件(H29~R2)	5件(H31までの累計)	△	新たに地元農産物を使用した商品開発は少ない状況です。	産業振興課
	1-3【産業振興】多様な産業群のイノベーション(革新・刷新)による産業の活性化を図る	8	農産物の販売のあった経営体数	農業振興対策の取り組みの状況を表す	1,040経営体(H27)	1,040 経営体	1,040 経営体	1,040 経営体	820経営体	1,040経営体	×	市としては新規就農支援を行っているが高齢化や後継者不足のため、農業者全体が減少傾向にある。	農林課
		9	認定農業者数	担い手確保対策の取り組みの状況を表す	26人(H27)	29 人	27 人	30 人	28人	31人	△	市としては新規就農支援を行っているが高齢化や後継者不足のため、農業者全体が減少傾向にある。	農林課
		10	ワイン用ぶどうの栽培面積	千曲川ワインバレー特区の展開の取り組み状況を表す	2.6ha(H28)	3.5 ha	5.1 ha	5.9 ha	5.79ha	4ha(H31)	○	栽培が軌道に乗り、1経営体当たりの栽培規模が増えてきている。	農林課
		11	遊休農地面積	農地の有効利用、遊休農地の解消の取り組みの状況を表す	296ha(H27)	296 ha	316 ha	340 ha	328ha	296ha	○	荒廃農地再生に補助金を交付しているが、農業後継者の不足もあり、増加傾向に歯止めはかかっている。	農林課
		12	協働の森づくり事業の参加者数	健全な森林(里山)保持に向けた取り組みの状況を表す	44団体(H27)	44 団体	44 団体	47 団体	0団体	44団体	×	令和元年度は47団体と目標を達成していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	農林課
		13	里山の整備	健全な森林(里山)保持に向けた取り組みの状況を表す	40.84ha/年(H27)	37.5 ha/年	39.8 ha/年	15.86 ha/年	8.7ha	40.84ha/年	×	地元区等による申請に基づいており、増減は受動的。団体数は変わらないものの、面積は減少傾向にある。	農林課
		14	地元産品を新たに使用する事業所数	地産地消に向けた取り組みの状況を表す	0社(H28)	0 社	1 社	1 社	0社	5社(H31)	×	基本的に千曲ブランド認定更新は2年に1度行っており、次回更新は令和3年度。更新時に新規認定事業者の把握をしているため令和2年度は把握できない。	観光交流課
		15	市内事業所数	市の産業振興の取り組みの状況を表す	2,873事業所(H26)	2,873 事業所	2,692 事業所	2,692 事業所	2,692事業所	2,873事業所	×	経営者の高齢化に伴い、事業統合などが行われている。	産業振興課
		16	製造業 事業所数	工業振興施策の取り組みの状況を表す	378事業所(H26)	378 事業所	370 事業所	370 事業所	370事業所	378事業所	×	国内外での自動車の需要回復に支えられ、鉄鋼や電機機械、第5世代移動通信システムの電子部品の需要の伸びが寄与している。	産業振興課
		17	卸・小売業 事業所数	商業振興施策の取り組みの状況を表す	648事業所(H26)	648 事業所	616 事業所	616 事業所	616事業所	648事業所	×	人口減少の影響やまたはインターネット販売等の普及により、事業所・店舗数が減少している。	産業振興課
		18	従業者1人当たりの年間製造品出荷額	企業の技術力・販売力の強化に向けた取り組みの状況を表す	2,608万円(H26)	2,842 万円	2,762 万円	2,928 万円	2,825万円	2,800万円	○	国内外での自動車の需要回復に支えられ、鉄鋼や電機機械、第5世代移動通信システムの電子部品の需要の伸びが寄与している。	産業振興課
		19	従業者1人当たりの年間商品販売額	商業振興対策の取り組みの状況を表す	3,083万円(H26)	3,083 万円	3,083 万円	3,083 万円	3,083万円(H26)	3,240万円	△	数値的に確認できませんが、アベノミクス景気の長期的な景気回復局面であったため年間商品販売額は良好であったと思われる。	産業振興課
		20	4人以上事業所1社当たり製造品出荷額等	企業の技術力・販売力の強化に向けた取り組みの状況を表す	78,682万円(H25)	87,576 万円	89,966 万円	102,792 万円	102,792万円(H30)	81,042万円(H31)	○	アベノミクス景気の長期的な景気回復局面であったため製造品出荷額等は良好であったと思われる。	産業振興課
		21	ICT産業の「空き事業所活用事業」の交付件数	ICT産業の進出状況を表す	0件(H28)	1 件	1 件	1 件	1件(H29~R2)	4件(H31までの累計)	△	難しい取組みですが、長野県産業立地・IT振興課などと連携しています。	産業振興課
		22	屋代駅・戸倉駅乗降客数	賑わいのあるまちを創出する取り組みの状況を表す	6,694人(H27)	6,576 人	6,609 人	6,407 人	4,805人	7,200人	×	人口減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止により人の移動制限などによる。	産業振興課
	23	商店街空き店舗等活用事業(改修費)助成金交付件数	空き店舗の解消の取り組み状況を表す	2件(H27)	3 件	6 件	11 件	15件(H28~R2)	8件(H31までの累計)	○	新型コロナウイルス感染症が拡大する前までは、パン屋、飲食店、ネイルサロンなどの起業があった。	産業振興課	

(1) 成果指標評価表

基本目標	施策	管理番号	指標	指標選定の考え方	基準値 (データ年度)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	評価値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	達成判定	達成・非達成理由	担当課
1 千曲の魅力で創生する賑わいと活力あるまち	1-4【観光交流】訪れたいまちを育てる	24	交流人口	賑わいのあるまちを創出する取り組みの状況を表す	186万人(H26)	208 万人	185 万人	185.9 万人	76.7万人	200万人(H32)	×	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛のため大幅減。	観光交流課
		25	観光客入込総数	賑わいのあるまちを創出する取り組みの状況を表す	441,800人(H25)	424,600 人	376,100 人	437,200 人	193,900人	463,890人(H31)	×	年々観光客数は減少傾向にある。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛のため大幅減。	観光交流課
		26	戸倉上山田温泉宿泊者数	賑わいのある温泉街を創出する取り組みの状況を表す	43.1万人(H26)	37.5 万人	37.6 万人	35.3 万人	19.5万人	45万人(H32)	×	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛のため大幅減。	観光交流課
		27	千曲川マルシェ集客数	千曲川流域市町村の連携による、ブランド化への取り組みの状況を表す	3,500人(H27)	3,000 人	4,000 人	0 人	0人	4,000人(H31)	×	令和元年度は台風により、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止によりイベントを中止したため。	観光交流課
		28	観光・地域情報の発信件数	観光情報・案内の充実の取り組みの状況を表す	107件(H28)	243 件	768 件	644 件	721件	365件(H31)	○	信州千曲観光局と連携し、各種SNSを使って幅広く情報発信を行ったため。	観光交流課
		29	信州ブレイブウォリアーズ市内試合観戦者数	プロスポーツを活かした地域活性化の取り組み状況を表す	1,500人/試合(H27)	1,388 人/試合	1,568 人/試合	1,767 人/試合	1,381人	2,200人/試合(H31)	×	新型コロナウイルス感染拡大防止により、感染者数をアリーナ収容定員の50%以下に制限したため。(ことアりに限れば、販売したチケット(約1,400人分)はほぼ完売)	観光交流課
		30	体験イベント等集客数	体験型観光の推進の取り組み状況を表す	191組(H27)	89 組	92 組	324 組	204組	340組(H31)	△	新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛のため。	観光交流課
	31	訪日外国人宿泊者数	インバウンド観光への取り組みの状況を表す	8,526人(H26)	7,470 人	8,380 人	9,072 人	899人	22,500人(H32)	×	令和元年度までは増加傾向であったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による外国人入国制限等もあり大幅減。	観光交流課	
	1-5【雇用】安定した雇用を創出する	32	市内事業所雇用数	市内企業の雇用者数を表す	25,922人(H26)	25,922 人	23,336 人	23,336 人	23,336人(H28)	26,699人	×	人口減少による働き手不足により、製造機械の更新時には高効率化の機械に入れ替え労働力不足を補完している。	産業振興課
		33	製造業 従業者数	産業振興施策による雇用の確保のための取り組みの状況を表す	7,849人(H26)	7,849 人	7,370 人	7,370 人	7,370人(H28)	8,084人	×	人口減少により製造業は慢性的な働き手不足の状態が続いている。	産業振興課
		34	卸・小売業 従業者数	商業振興施策の取り組みの状況を表す	4,563人(H26)	4,563 人	4,314 人	4,314 人	4,314人(H28)	4,699人	×	小売・飲食店などの経営者の高齢化に伴い、閉店がある。	産業振興課
		35	創業件数	市内新規創業者数の状況を表す	4件(H27)	27 件	37 件	44 件	57件(H28～R2)	50件(H31までの累計)	○	新型コロナウイルス感染症が拡大する前までは、パン屋、飲食店、ネイルサロンなどの起業があった。	産業振興課
		36	納税義務者1人当たり所得	納税義務者の所得の向上具合を表す	2,666千円(H25)	2,737 千円	2,788 千円	2,786 千円	2,761千円(R2)	2,746千円(H31)	○	アベノミクス景気の期間は7 1カ月で戦後最長となった「いざなぎ景気」に迫るを超える長期的な景気回復局面であったため。	産業振興課
		37	新規若年雇用者数	若い世代の安定した雇用創出のための取り組み状況を表す	231人(H27)	228 人	218 人	172 人	117人	259人	×	就業、就職の機会を捉えて若年層の市外流失は止まらない状況です。	産業振興課
38		「おしごとながの」企業登録件数	企業情報を発信することで地域外からの雇用、移住定住につなげるための取り組み状況を表す	0件(H27)	31 件	31 件	34 件	35件	50件(H31)	△	過去の推移から市内で登録する企業数は、3 5件程度と思われる。	産業振興課	
39	「工場等立地雇用支援事業」の交付人数	工場等における市民の雇用状況を表す	0人(H28)	5 人	11 人	11 人	11人(H29～R2)	10人(H31までの累計)	○	工場等用地取得事業の対象であって、要件を満たすことが条件となることから開発圧力はある。	産業振興課		
40	本社機能誘致数	東京23区内から本社機能を移転した事業所の状況を表す	0件(H28)	0 件	0 件	0 件	0件(H29～R2)	2件(H31までの累計)	×	難しい取り組みですが、長野県産業立地・IT振興課などと連携します。	産業振興課		
1-6【移住・定住】住んでみたい、住み続けたいまちをつくる	41	社会増減(年間延べ)	社会増減の状況を実数で把握し、移住施策全体の効果を表す	▲168人(H26)	53 人	73 人	121 人	113人	▲18人(H31)	○	市外への通勤などの交通の利便性や地価の安さなど、本市が持つ地理的優位性から、市内では宅地造成が増加した。また、「移住・定住」「子育て支援」並びに「福祉」や「健康増進」などの支援事業が少しずつ効果を上げていることから、2016年から5年連続で社会増となっている。	総合政策課	
	42	地域ブランド調査認知度	シティ・プロモーションの取り組みの状況を表す	596位(H26)	521 位	577 位	573 位	464位	500位以内(H31)	○	シティ・プロモーションのこれまでの取り組みや令和元年東日本台風災害により、千曲市の認知が上がったと想定される。	観光交流課	
	43	お試し移住件数	実際に来訪し、お試し移住することで将来着地する可能性を表す	0件(H27)	0 件	0 件	3 件	2件	6件(H31)	△	新型コロナウイルス感染拡大防止により、参加希望者側で来訪を自粛した可能性も考えられるが、希望があった方に対しては市内を案内した。	観光交流課	
	44	奨学金利用者数	奨学金利用により移住・定住に繋がる効果を表す	0人(H28)	0 人	0 人	2 人	3人	50人(H31)	△	UIJターン者向けの奨学金償還優遇制度については、奨学金を借りて償還が終わっていない人の中で、市外から就業する目的で移住・定住するという制度であるため、該当となる人が少ない。そのようなことから、目標の設定が高いと思われる。しかしながら、年々少しずつではあるが、利用者が増えてきた。	観光交流課 教育総務課	

(1) 成果指標評価表

基本目標	施策	管理番号	指標	指標選定の考え方	基準値 (データ年度)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	評価値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	達成判定	達成・非達成理由	担当課	
2 安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち	2-1【子育て】「千曲っ子」を元気に生み育てられる環境をつくる	45	合計特殊出生率	妊娠、出産育児に渡る切れ目ない支援の取り組み状況を表す	1.43(H25)	1.48	1.54	1.40	1.50	1.56(H31)	△	全国的に出生数は減少しており、当市でも年々減少しているため	健康推進課	
		46	子育てについての不安や負担を感じる割合	子育ての環境整備の取り組みを表す	44.3%(H26)	44.3 %	48.6 %	48.6 %	41.20%	22.0%(H30)	×	「子育て世代包括支援センター」を開設し、妊娠・出産・子育てに関し、切れ目なく支援することに取り組んでいるが、更に不安要素等の把握を行い、きめ細やかな支援など質の向上を図る必要がある。	こども未来課	
		47	子育て支援センター年間利用者数	子育て支援に対する環境整備の取り組みを表す	43,041人(H27)	37,328 人	36,074 人	27,101 人	14,395人	43,000人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止として4・5月は閉鎖していたこと及び再開後も予約制により利用人数が減少したため。	こども未来課	
		48	ファミリーサポートセンターの年間利用者数	地域における相互支援の取り組み状況を表す	1,089人(H27)	898 人	518 人	496 人	665人	1,200人	×	制度の浸透により年々利用者数は増加しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響もあり利用者数は目標達成に至らなかった。	こども未来課	
		49	児童館・児童センター・児童クラブの年間利用者数	仕事と家庭の両立支援の環境整備の取り組みを表す	113,003人(H27)	112,380 人	112,712 人	112,745 人	108,844人	113,000人	×	新型コロナ感染拡大防止のための小・中学校の臨時休業（3～4月）に伴い、自由来館（児童館事業）の受け入れを中止したことや、感染拡大防止のため児童クラブの利用自粛をお願いしたこと等により利用者が減少したため	こども未来課	
		50	長時間保育・一時保育・日曜保育の年間利用者数	仕事と家庭の両立支援の環境整備の取り組みを表す	17,894人(H27)	— 人	15,480 人	17,286 人	16,856人	18,000人	×	未満児から入園する園児が増えたことにより、一時預かりの利用者が減っている。	保育課	
		51	市支援策による婚姻数	自然増の前提となる婚姻の増加を、実施した事業の結果として把握することが可能	8件(H26)	8 件	10 件	5 件	5件	12件(H31)	×	新型コロナ感染拡大防止のため活動が制限されるなか、オンラインツアーなど内容の見直しや手法拡大の努力の結果、今年度に5件、成婚に至っている。	こども未来課	
		52	子育てアプリ登録者数	子育てに関する情報発信の取り組みを表す	0人(H27)	123 人	375 人	552 人	974人	2,000人(H31)	△	子育て支援センターの予約状況を確認できるようになり、例年より登録者は増えたが、目標達成には至らなかった。	こども未来課	
		53	年間フェイスブック記事延べアップ数	子育ての行事等の取り組みを表す	0回(H27)	7 回	42 回	2 回	2回	150回(H31)	△	子育て支援センターのイベント等の自粛等により発信する内容が限られたため。	こども未来課	
		54	サークル補助金申請数	子育てをしている保護者の支援につながるサークル活動の取り組みを表す	2件(H27)	2 件	1 件	2 件	1件	10件(H31)	×	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により活動の自粛や内容の制限により、目標達成には至らなかった。	こども未来課	
		55	家庭児童相談の年間件数	家庭における児童養育、家庭福祉に関する環境や支援の取り組みを表す	3,089人(H27)	2,442 人	2,952 人	4,365 人	5,146人	3,000人	○	令和元年度に既存の家庭児童相談室を核として専門職の配置等により家庭児童相談支援体制の強化を行い、子ども家庭支援拠点を設置した。また、子育て世代包括支援センターとの連携会議を開催し、コロナ禍ではあるが、相談業務・支援会議・見守りを継続的にを行い、養育支援が必要と思われるご家庭への早期からの支援を実施することにより、相談件数の上昇につながった。	こども未来課	
		56	乳幼児健診受診率	母子保健の取り組みを表す	97.3%(H26)	97.9 %	98.33 %	96.8 %	98.9%	98%(H31)	○	健診後、未受診者に対し受診勧奨をしており、受診率が95%以上で安定している。	健康推進課	
		57	三世同居・近居のための補助事業の利用件数	子育てなどの生活環境の改善に取り組む家庭数を表す	0件(H27)	20 件	52 件	90 件	130件	60件(H31までの累計)	○	HPIによる周知の他に、新築住宅の家屋調査時に、固定資産税係にチラシの配布を依頼し制度の周知が十分にできた。	建設課	
		58	子育て家庭の住宅取得に対する補助事業の利用件数	より良い子育て環境の基盤となる住宅取得件数の増加を表す	0件(H27)	20 件	52 件	90 件	130件	30件(H31までの累計)	○	HPIによる周知の他に、新築住宅の家屋調査時に、固定資産税係にチラシの配布を依頼し制度の周知が十分にできた。	建設課	
		59	妊婦一般健康診査受診券利用率	妊娠、出産育児に渡る切れ目ない支援の取り組み状況を表す	94.2%(H26)	84.1 %	87.38 %	86.1 %	87.1%	95%(H31)	×	早産や、妊娠届出書の提出時期の遅延が影響し、利用できない場合があった。	健康推進課	
		60	不妊治療助成件数	妊娠、出産育児に渡る切れ目ない支援の取り組み状況を表す	30件(H26)	34 件	33 件	29 件	33件	35件(H31)	△	不妊治療の実態把握は難しいため。	健康推進課	
		61	マタニティタクシー助成券の有効期限満了時の利用率	妊娠・出産後の負担軽減の取り組みを表す	9.7%(H27)	16.36 %	17.27 %	19.54 %	11.84%	50%(H31)	△	セーフティネットとしての利用実態のため、利用率は目標達成に至らなかった。に加え、男性の育児参加が促進されているため	こども未来課	
		2-2【教育】子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる	62	不登校児童の割合	小学校における児童の不登校状況を表す	0.32%(H27)	0.5 %	0.68 %	0.76 %	1.28%	0.3%	×	全国全県と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の休校後、人数が増加した。学校や教育委員会のサポート・相談体制で懸命に取り組んでいるが人数の増加を抑えることができなかった。	教育総務課
			63	不登校生徒の割合	中学校における生徒の不登校状況を表す	2.92%(H27)	3.63 %	3.55 %	3.96 %	4.12%	2.1%	×	全国全県と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の休校後、人数が増加した。学校や教育委員会のサポート・相談体制で懸命に取り組んでいるが人数の増加を抑えることができなかった。	教育総務課
64	特別支援教育支援員等配置人数		きめ細やかな支援の取り組みを表す	39人(H28)	41 人	41 人	42 人	44人	46人	△	目標値にはわずかに届いていないが、児童生徒数に対応できているか否か学校と連絡を取りながら応急的に必要であれば人材を探し充てている。	教育総務課		

(1)成果指標評価表

基本目標	施策	管理番号	指標	指標選定の考え方	基準値 (データ年度)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	評価値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	達成判定	達成・非達成理由	担当課
2 安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち	2-2【教育】子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる	65	千曲市型コミュニティスクールの実施割合	学校支援ボランティアの活動のもとに保護者・地域・学校が協働して開かれた学校づくりを目指す状況を表す	0%(H27)	100 %	100 %	100 %	100%	100%(H31)	○	地域の方の理解を得ながらコロナ禍でも見守り隊等の活動は行っており、子どもの学びと共に進めることができた。	教育総務課
		66	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	地域における児童生徒のかかわり状況を表す	84.4%(H27)	82.7 %	80.9 %	85.45 %	85.45%	85%(H31)	○	コロナ禍でも人が集まりすぎないように注意しながら、住んでいる地域行事の一端を担っていた。	教育総務課
		67	食材の地場産物使用度	地元農産物の利用促進の取り組み状況を表す	49.8%(H27)	55.4 %	48.94 %	58 %	54.9%	55%	△	献立づくりにあたり、郷土食や旬などを意識し、その中で地元産の食材の使用に努めている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校の臨時休業等があり、給食業務にも影響があったものの、目標値とほぼ同じ数値とすることはできた。	給食センター
		68	事故件数	食中毒や労災事故が起きない取り組みを表す	4件(H27)	2 件	6 件	5 件	4件	0件	×	事故防止に向けた啓発等にも取り組んではきたが、意図せず発生してしまった。	給食センター
		69	一日当たりの残菜量	残菜量を減らす取り組みを表す	36kg(H27)	24.00 kg	25.09 kg	26.00 kg	30.25kg	35kg	○	食物を大切にし、残さず食べることの大切さは十分に理解されているが、年齢、体格、各人の個人差などにより、やむを得ない部分もある。 (学校給食は児童生徒の嗜好に合うものを追求めるものではなく、地域の食文化や多様な食を経験し、健全な食生活を営む判断力や望ましい食習慣を養うことも目標の一つとなっている)	給食センター
	2-3【生涯学習スポーツ文化芸術】学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める	70	生涯学習の講座数と参加者数	生涯学習活動への市民参加を表す	1,423講座 22,665人(H27)	1,196講座 24,084人	1,035講座 20,332人	1,016講座 18,958人	796講座 9,956人	1,500講座 25,000人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座数が減少	生涯学習課
		71	市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	気軽に利用できるスポーツ施設の環境整備の取り組みを表す	6.7回(H27)	6.6 回	6.9 回	7.1 回	3.2回	6.8回	×	新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の休館があったため。	スポーツ振興課
		72	成人の運動実施率	健康運動の普及と推進の取り組み状況を表す	50.4%(H25)	50.4 %	43.8 %	43.8 %	43.8%(R1)	65.0%	×	R2は調査をしていないためH30調査で報告。体を動かす場所や機会が年々減少しているためと思われる	スポーツ振興課
		73	文化施設の利用者数	文化施設の活用状況を表す	193,048人(H27)	180,406 人	191,748 人	146,621 人	46,076人	200,000人	×	令和元年東日本台風によって更埴文化会館が被害を受け、それ以降閉館しているため。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から国の緊急事態宣言期間にあわせ約1か月間の休館措置をとったため。 新型コロナウイルス感染拡大の恐れから、人との接触を減らす新しい生活スタイルが定着してきたことで、外出を控えることが増えたため。 また、各施設でのイベント等の開催自粛や縮小を余儀なくされたため。	文化課
	2-4【男女共同参画】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会をつくる	74	市の審議会等における女性の参画率	まちづくりへの女性の参画を表す	25.10%(H27)	27.2 %	26.2 %	26.7 %	27.60%	40%	△	基準値より増加しているものの、増加率は伸び悩んでいる。現状全国的に男性登用の社会であることから女性登用率は伸び悩んでいる。	人権・男女共同参画課
		75	父親・母親の育児・介護休業取得	仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現への取り組み状況を表す	0.1%(父)(H26)	0.1 %(父)	0 %(父)	0 %(父)	0.0%(父)(H30)	2.0%(父)(H31)	×	男性の育休取得が当たり前となる社会の形成は短期間で完成していない。長期スパンでの経過観察が必要である。	人権・男女共同参画課
					9.9%(母)(H26)	9.9 %(母)	17.7 %(母)	17.7 %(母)	17.7%(母)(H30)	10.0%(母)(H31)	○	女性の社会進出が増加していることから、企業等の福利厚生が充実してきたことによると思われる。	人権・男女共同参画課
	77	「社員の子育て応援宣言」登録企業数	従業員が仕事と家庭の両立ができるような「働きやすい職場環境づくり」を目指す企業・事業主の取り組み状況を表す	17社(H27)	25 社	28 社	24 社	24社	56社(H31)	△	基準値より増加しているものの、市内企業への啓発が不足していたため増加率は伸び悩んでいる。	人権・男女共同参画課	
	2-5【多文化共生】国際性の豊かな人とまちをつくる	78	多文化共生フェスティバル千曲万博の参加者数	多文化共生・国際化推進の取り組み状況を表す	650人(H27)	450 人	400 人	430 人	0人	750人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを中止	生涯学習課
	2-6【人権・平和】人を大切に、差別のないまちをつくる	79	地区人権教育研修会の参加者数	人権尊重意識向上の取り組み状況を表す	2,931人(H27)	2,772 人	2,788 人	2,507 人	393人	3,200人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、未開催であった地区が多かった。	人権・男女共同参画課
		80	「平和」をテーマとした事業の開催	平和意識高揚の取り組み状況を表す	150人(H27)	480 人	850 人	570 人	0人	200人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、未開催。	人権・男女共同参画課

(1) 成果指標評価表

基本目標	施策	管理番号	指標	指標選定の考え方	基準値 (データ年度)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	評価値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	達成判定	達成・非達成理由	担当課	
3 支え合い、だれもが健康で活躍するまち	3-1【地域福祉】ともに支え合う地域としくみを育てる	81	福祉ボランティアのグループ数	住民の福祉活動の取り組みの広がりを表す	139グループ(H27)	197グループ	131グループ	132グループ	133グループ	150グループ	×	実際に活動している団体の精査、高齢化等による活動の中止、SNSでの活動がメインのため団体登録をしていない等の理由によりわずかに減少した。 ボランティア・市民活動交流センターによる活動の支援や育成、調整等きめ細かな対応が必要	福祉課	
		82	福祉ボランティアの人数	住民の福祉活動の取り組みの広がりを表す	1,105人(H27)	2,044人	2,972人	4,178人	6,178人	1,500人	○	ボランティア保険加入延数で評価。 近年の災害以降、団体のみならず個人でのボランティア参加が増している	福祉課	
	3-2【健康づくり】健康な心や体を市民自らがつくる気持ち育てる	特定健康診査	83	特定健康診査	生活習慣病の早期発見・早期治療に向けた予防対策に対する意識の高まりを表す	43.7%(H27)	41.3%	44%	45.5%	43.6%	60%	×	事業所での人間ドックの実施が増加していることから、市での受診は横ばいである	健康推進課
			84	特定保健指導	自分の健康状態を認識し、疾病予防の意識の高まりを表す	91.2%(H27)	91.6%	92.1%	91.5%	45.9%	91.2%	×	国の集計途中のため、現時点での暫定値であるが、対象者あて個別に通知を送付していることから毎年度目標値を達成している、	健康推進課
			85	糖尿病境界型及び糖尿病型の人の割合	糖尿病等生活習慣病の予防活動の取り組みを表す	27.8%(H27)	27.4%	28.6%	30.6%	30.2%	20%	×	肥満者増加により、糖尿病境界型及び糖尿病型の割合が増加	健康推進課
			86	各種がん検診受診率	胃がん7.9%	がんの早期発見、早期治療の取り組み状況を表す	胃がん6.3%	胃がん20%	×	対象者に対し、個別受診勧奨を毎年実施し受診率の増加に努めているが、検診方法が、職域や人間ドック等多様であるため、受診率の実態把握が難しい。	健康推進課			
					肺がん18.4%		肺がん16.3%	肺がん20%						
		大腸がん23.1%			大腸がん16.4%		大腸がん25%							
		87	生活習慣病の発症及び重症化予防	生活習慣病の予防・健康管理の取り組み状況を表す	25.4%(H27)	24.3%	21.9%	21.2%	21.8%	25%以下(H31)	○	生活習慣病の発症及び重症化を予防するため個別訪問を実施	健康推進課	
					88	定期予防接種(A類)の接種率	感染症予防活動の取り組みを表す	95.2%(H27)	90.3%	101.1%	94.6%	92.5%	95.5%	×
		89	運動習慣のある市民の増加	運動習慣により、生活習慣病予防並びに健康増進の取り組みを表す	37.2%(H27)	37%	36.7%	37.3%	34.6%	39.0%(H31)	×	保健指導により、運動習慣の定着及び生活習慣病に関する啓発を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛が影響し低下した。	健康推進課	
		3-3【保健・医療】いつでも適切な医療を受けられる体制をつくる	90	医療施設の状態	地域医療確保の取り組みを表す	62か所(H27)	64か所	64か所	64か所	65か所	62か所	○	千曲医師会、埴科更級歯科医師会との連携を実施している。	健康推進課
	91		夜間初期救急医療の状態	夜間初期救急対応を表す	3か所(H27)	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	○	近隣総合病院との連携、郡市医師会との連携をはかり、夜間初期救急体制に対する補助、医師派遣に対する補助を行った。	健康推進課	
	3-4【高齢者福祉】高齢者が生きがいを持って暮らせる環境をつくる	92	市域担当の生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置数	地域で高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けての取り組み状況を表す	0人(H27)	0人	1人	1人	3人	1人(H31)	○	専門知識を有した職員の配置、また、事業の持続性を保つため目標値以上の人員を配置することができた	高齢福祉課	
		93	介護予防事業(平成31年度は介護予防・日常生活支援総合事業)へ参加の高齢者人口に対する割合	介護予防の取り組みの進捗状況を表す	21.5%(4,040人)(H27)	39.3%(7,542人)(H29)	23.8%(4,630人)(H30)	19.9%(3,881人)(R1)	2.8%(548人)	24.3%(4,608人)(H31)	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの事業が中止、または延期となったため	高齢福祉課	
		94	認知症サポーター登録数	地域で認知症の理解・支援についての参加状況を表す	2,599人(H27)	3,144人	3,503人	3,865人	3,939人	4,800人	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの事業が中止、または延期となったため	高齢福祉課	
	3-5【障がい者福祉】障がい者の自立をみんなでお支えのしきをつくる	95	ふれあい広場への参加者数	障がい者福祉への意識の高まりを表わす	13,000人(H27)	13,000人	8,000人	0人	0人	14,000人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止したため。	福祉課	
		96	自立のための実習、訓練への参加者数	障がい者の自立支援の取り組み状況を表わす	226人(H27)	265人	290人	315人	292人	242人	○	就労系サービスのニーズに沿った支援につなげられるよう、初期相談対応から丁寧な対応を実施。	福祉課	
		97	障がい者の雇用率	障がい者の就労支援の取り組み状況を表わす	1.98%(H27)	2.06%	2.14%	2.17%	2.25%	2.1%	○	県全体の割合を記載(地域ごとには不可)。制度利用から一般就労に向けての支援等に取り組めるよう地域内の連携体制等の強化を図ってきた。	福祉課	
	3-6【生活支援】安定した生活を送れるまちをつくる	98	生活支援相談件数	安定した生活に向けての取り組み状況を表す	29,170件(H27)	22,918件	30,544件	34,167件	31,233件	33,546件	△	初回の相談から本人の意向を丁寧に聞き取り、どのような支援が可能か検討した上で、対応をしている。	福祉課	

(1) 成果指標評価表

基本目標	施策	管理番号	指標	指標選定の考え方	基準値 (データ年度)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	評価値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	達成判定	達成・非達成理由	担当課
4 災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち	4-1【安全・安心】安全で安心な暮らしを確保する	99	地区防災計画の策定件数	自主防災対策の取り組み状況を表す	0件(H28)	0件	0件	0件	1件	1件	○	計画策定の取り組み団体へ、地区防災ガイドライン（内閣府）、千曲市地域防災計画などの資料提供及び作成を支援を行いR2年度には上徳間区で計画が策定された。	危機管理防災課
		100	都市圏自治体との防災協定件数	防災体制整備の取り組み状況を表す	0件(H27)	0件	0件	0件	0件	1件(H31)	×	当市と同規模の市町村を目的に協定先の検討中であり、広域での取り組みのため困難を極めている。	危機管理防災課
		101	消防団サポートショップ加入数	消防団員の活動環境整備の取り組み状況を表す	4店(H26)	14店	14店	18店	18店	14店(H31)	○	地域防災を支える消防団に対し一部事業所の理解が得られた。	危機管理防災課
		102	消防団員数	消防団員確保の取り組み状況を表す	806人(H26)	794人	786人	785人	734人	817人(H31)	×	若年層の減少、職種の多様化等により団員確保が困難となっている。	危機管理防災課
		103	木造住宅耐震化率	個人住宅の耐震化の取り組みの状況を表す	77.5%(H27)	77.5%	77.6%	77.6%	81.6%	90%	△	耐震工事の費用が高いことや、将来の建替えや除却を予定している人が多いことから、耐震工事件数が増加しなかったため。	建設課
		104	市内での年間交通死亡事故件数	交通死亡事故防止に向けた取り組みの状況を表す	1件(H27)	5件	0件	3件	1件	0件	×	令和2年度八幡地区において、自動車と自転車との衝突事故が発生し、1名の方がお亡くなりになられた。	生活安全課
	4-2【公園・緑地】花や緑があふれる潤いのあるまちをつくる	105	市民一人あたりの都市公園(公園・緑地)面積	都市公園の整備状況を表す	11.3㎡(H27)	11.3㎡	11.2㎡	11.29㎡	11.32㎡	12.4㎡	△	今後の維持管理費用を考慮し、既設公園の長寿命化を優先したため。	都市計画課
	4-3【上下水道】きれいな水の循環を保つ	106	上水道(県営水道)の普及率	安全な給水のための取り組みの状況を表す	89.8%(H27)	89.8%	89.9%	90.0%	90.0%	92%	△	補助金の活用などで普及率が上昇したが周知が足りないと思われる。	上下水道課
		107	下水道などの水洗化率	快適な生活環境を維持するための下水道などの水洗化状況を表す	88.3%(H27)	91.4%	92.4%	92.9%	93.4%	90%	○	市報による啓発や未接続世帯に対する依頼通知により水洗化の促進が図られていると思われる。	上下水道課
		108	BOD(生物化学的酸素要求量)が基準値以下の河川数	河川環境保全の取り組み状況を表す	14河川(H27)	15河川	17河川	15河川	15河川	24河川	△	下水道の接続により水質が改善されているが、結果が出るには長いスパンが必要なため。今後も年2回の水質調査を行い、結果を注視していく。	環境課
	4-4【ごみ処理】「もったいない」の心を大切に作る循環型社会をつくる	109	一人一日あたりのごみの排出量	ごみの減量に対する取り組みの状況を表す	804g(H27)	784g	780g	782g	765g	790g	○	市民のごみ排出抑制・減量化・資源分別収集への取組により、目標値を達成できた。	廃棄物対策課
		110	市が収集するごみのリサイクル率	ごみの再資源化に対する取り組みの状況を表す	21.1%(H27)	18.3%	17.4%	15.6%	16.8%	22%	×	民間店舗等での資源物回収を利用する市民が増えているため、リサイクル率が低下している。しかし、容器包装プラスチックなど店頭回収を行っていない品目の回収量は減っていないので、分別の精度が低下しているわけではない。 (例：H27容器包装プラスチック424トン⇒R2 426トン)	廃棄物対策課
	4-5【地球環境保全】地球環境の保全を意識した社会をつくる	111	買い物時のマイバッグ持参率	誰もができる身近な環境活動による、市民の環境保全に対する意識の高さを表す	65%(H27)	63.5%	65.6%	69.7%	91.3%	71%	○	令和2年7月からレジ袋の有料化が始まり、マイバッグを持参する人が増えたため。	環境課
		112	市内一斉美化活動への参加者	市民の環境・美化活動への取り組み状況を表す	11,547人(H27)	10,802人	10,610人	10,720人	0人	13,000人	×	R2年はコロナ禍及び台風災害により、市内一斉のごみゼロ運動・千曲川クリーン作戦は中止。R元年度参加者 ごみゼロ8,915人 千曲川クリーン作戦1,805人	廃棄物対策課
113		環境マネジメントシステムの取り組み事業所	環境意識の高揚と実践の状況を表す	30事業所(H27)	31事業所	32事業所	34事業所	34事業所	36事業所	△	基準値より増加しており、環境意識が高まりつつあるが導入に負担がかかるため伸び悩んでいる。	環境課	
114		年間のCO2の排出量(市)	地球温暖化防止への取り組みの状況を表す	433,320t(H27)	430,145t	434,000t	432,548t	397,260t	389,328t	△	排出量は減少傾向にあるので、今後も省エネルギーや再生可能エネルギーの活用を推進していく。	環境課	
5 輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち	5-1【歴史・文化財】輝かしい歴史・文化的遺産を守り、未来に継ぐ	115	国・県・市指定文化財数	文化財保護の取り組みの状況を表す	146件(H27)	148件	149件	149件	149件	166件	△	文化財指定にあたり、候補物件の調査に時間を要しているため。	歴史文化財センター
		116	蔵等の改修利用棟数	歴史ある建物が改修により交流拠点として新たな価値を生み出し活用される状況を表す	0件(H27)	0件	2件	1件	0件	4件(H31)	×	把握する手段が明確でないことから成果指標としては適さなかった	観光交流課
		117	博物館・史跡公園の入館(場)者数	文化財施設の活用状況を表す	46,071人(H27)	39,072人	43,137人	38,131人	25,350人	48,800人	×	コロナ禍による臨時休館のため入館者が減となった。	歴史文化財センター
	5-2【自然との共生】ふるさとの自然に溶け込み、親しみ守る	118	動植物に配慮した河川の整備	動植物との共生に向けた取り組みの状況を表す	14箇所(H27)	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	16箇所	△	生き物の生息場所として、必要な河川について整備を行ったが予算、人員の都合上目標値には至らなかった	環境課
		119	希少な動植物の年間保護活動件数	希少な動植物の保護に対する取り組みの状況を表す	7件(H27)	9件	10件	10件	11件	9件	○	保護団体が増えたため。	環境課
		120	外来動植物等の年間駆除件数	自然生態系を保全するための実践活動を表す	8件(H27)	8件	8件	8件	2件	9件	×	新型コロナウイルス感染拡大防止により、活動を中止したため。	環境課

(1)成果指標評価表

基本目標	施策	管理番号	指標	指標選定の考え方	基準値 (データ年度)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	評価値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	達成判定	達成・非達成理由	担当課
5 輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち	5-3【景観形成】景観の美しいまちをつくる	121	建造物修理・修景事業	景観形成への市民の取り組み状況を表す	修理 1件 修景 0件(H27)	修理 6件 修景 0件	修理 6件 修景 1件	修理 7件 修景 2件	修理 11件 修景 3件	修理 13件 修景 7件	△	伝建地区における建物等修理にあたっては、工事費の80%を補助しているが、20%が自己負担となるため。	歴史文化財センター
		122	景観形成住民協定締結地区数	景観形成への市民意識の高まりを表す	1地区(H27)	1地区	1地区	1地区	1地区	2地区	△	地区指定要望がなかったため。	都市計画課
	5-4【食文化】郷土料理を伝えていく	123	千曲市食の文化祭入場者数	郷土の食文化伝承活動の取り組み状況を表す	600人(H27)	550人	550人	0人	0人	600人	×	令和元年度、2年度と新型コロナウイルス感染拡大防止として、イベント開催を中止としたため。(平成29,30年度は550人)	農林課
	5-5【伝統文化】伝統行事や民話などを楽しみ、次代に伝承する	124	神楽保存会(継承)数	地域の伝統芸能である神楽の保存・伝承の取り組みの状況を表す	30団体(H27)	30団体	30団体	30団体	30団体	30団体	○	伝統行事を継承するための地道な取り組みにより、保存団体の維持が図られている。	歴史文化財センター
6 協働で創る、市民主体の住みたい住み続けたいまち	6-1【市民協働・市民交流】市民と行政が協働する地域社会をつくる	125	自立した協働事業の件数	市民活動団体育成の取り組み状況を表す	0件(H28)	2件	2件	4件	5件	11件	△	財政的な事情から、協働事業提案制度の事業採択件数自体が計画を下回った結果、自立した協働事業件数について見込み通りとならなかった(R2までに完了した市民テーマ型協働事業は「11件」)	市民協働課
		126	地域づくり組織の数	自治意識の醸成に向けた取り組みの状況を表す	0組織(H28)	0組織	0組織	0組織	0組織	9組織	×	地域づくり組織の形成に向けた取り組みを進める中で、効果的に事業を進めるためには、丁寧かつ慎重な地域との対話が必要と判断し、目標時期を令和6年度に見直すこととしたため。	市民協働課
	6-2【行政経営】将来にわたり持続可能な財政運営を進める	127	実質公債費比率	公債費の上昇が見込まれる時期であることから、地方債発行の制限(公債費負担適正化計画の策定)まで至らないよう将来にわたり持続可能な財政運営に取組む状況を表す	18%未満 (地方債発行制限の基準)	7.3%	7.3%	7.5%	8.0%	10%台前半	○	特定目的基金を活用し、後年度への負担に配慮するとともに原則として交付措置のある地方債を活用した	財政課
		128	市の職員数	スリムな行政運営の取り組みを表す	469人(H28)	472人	469人	472人	474人	459人	×	新庁舎移転後、各庁舎で重複していた業務を統一したことによる職員減を見込んでいたが、東日本台風災害の復旧対応等により増加となった。	総務課
		129	公共施設の保有量	公共施設等総合管理計画に沿った公共施設等の総量縮減の取り組み状況を表す	225,925㎡ (H26)	211,549㎡	228,781㎡	239,984㎡	239,811㎡	2%縮減 (H31)	×	戸倉地区コミュニティセンターの廃止、教員住宅や市営住宅の解体等で床面積が減った一方、更埴体育館、白鳥園、更埴西中学校体育館、戸倉上山田中学校、第1学校給食センター、千曲市庁舎の改築等により床面積が増加した。	財政課
	6-3【広域行政】近隣広域行政圏、国・県との連携を進める	130	連携事業数	長野市との連携事業数を表す	29事業(H27)	30事業	31事業	33事業	33事業	32事業	○	連携市町村において、「お互いの強みを活かし、弱みを補うことにより圏域全体の活性化を図る」という共通の目的が浸透してきたことから、年々事業数が着実に増加した。	総合政策課
6-4【情報コミュニケーション】ICTを活用し、いつでもどこでも快適に情報の入手・発信ができる環境をつくる	131	市のフェイスブックのファン数	情報発信、情報提供の取り組みの状況を表す	685件(H28)	1,000件	1,088件	1,324件	1,564件	1,685件	△	投稿数が減少したため、連動してファン数も減少した。	情報政策課	
	132	ながの電子申請の利用率	市民の行政手続きにおけるインターネット利用状況を表す	4,247件(H27)	5,374件	6,175件	7,425件	7,800件	5,000件	○	従来の行政手続きに加え、イベントの参加申込や保育園の欠席連絡など、多くの利用が見込まれる手続きを追加したため。	情報政策課	